



在インドネシア日本国大使館  
Embassy of Japan in Indonesia

# インドネシア人材の魅力

2025年6月23日

小宮元晃

一等書記官(農業・食品担当)

# 目次

1. インドネシアの概要
2. インドネシアの農業
3. インドネシア人材の魅力



ジャカルタの朝の景色

# 1. インドネシアの概要①

図 インドネシアの地域分類



出典：国際協力銀行「インドネシアの投資環境」より作成

- 南北約1,900Km、東西5,110Kmの範囲にわたり、国土面積は日本の約5倍の1.9億ha。
- スマトラ、ジャワ、カリマンタン、スラウェシ、ニューギニアの主要5島とその他17,000以上の島々から成る。
- 雨期(概ね11月～3月)、乾期(概ね4～10月)の2つの季節に区分される。年間を通じて温暖(ジャカルタで28°C前後)。

# 1. インドネシアの概要②

- 人口：約2.9億人（平均年齢約30歳）
- 首都：ジャカルタ（人口約1,100万人）
- 民族：多民族（ジャワ人、スンダ人等マレー系、パプア人等メラネシア系、中華系等）
- 言語：インドネシア語
- 宗教：イスラム教87%、キリスト教10.4%、ヒンズー教1.7%、仏教0.7%
- 経済成長率：約5%
- 略史：7世紀後半～：スマトラに仏教国スラウィジャヤ王国が勃興、13世紀：イスラム文化・イスラム教の渡来、1799年：オランダ、インドネシアを直接統治下におく、1942年：日本軍による占領（～1945年）、1945年：スカルノ及びハッタがインドネシア独立を宣言、2024年：プラボウォ・スビアント大統領就任（第8代大統領）

## 2. インドネシアの農業①

- 主食であるコメの生産が最も盛ん(中国、インド、バングラデシュに続く世界第4位のコメ生産国)。その他、天然ゴム、パームオイル、キャッサバ等の生産が盛ん。
- ジャワ島は小規模農家によるコメ作が中心。スマトラ、カリマタン、スラウェシでは重要輸出産品である天然ゴム、パームオイル等のプランテーション作物の生産が盛ん。

## 2. インドネシアの農業②

- 気温は年間を通じてほぼ一定のため、灌漑により乾期においても用水が確保できるエリアでは2期作・3期作が可能。



西ジャワ州における4月末の水田の様子。同じ時期に田植え前～収穫後の状態まで様々な水田を見ることができる。この地域の田植えでは、稲を手で植えている。

(参考) インドネシアの食事情についての【今月のコラム】を農水省HPに掲載中。

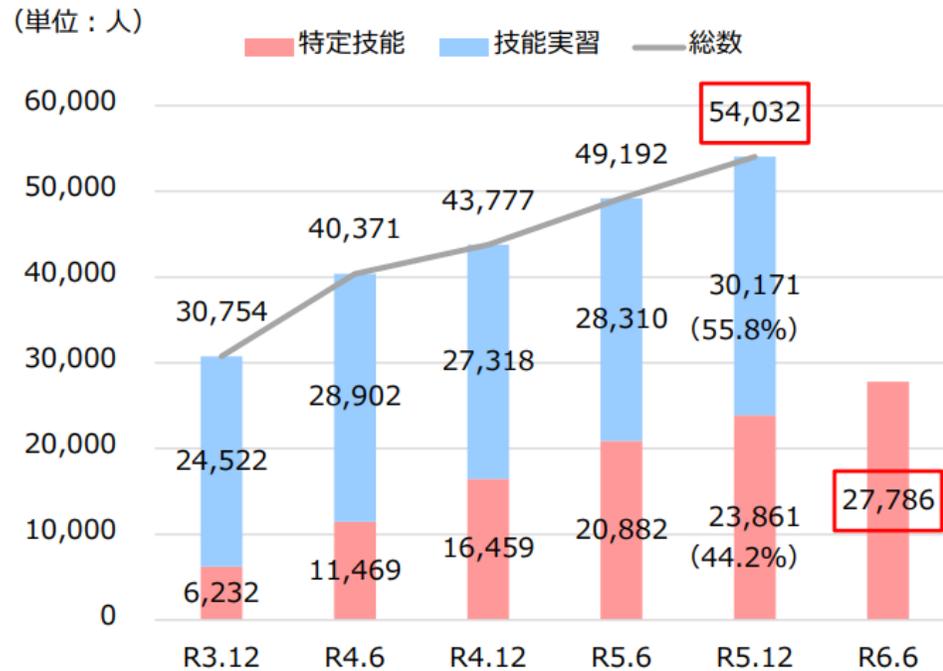
食料安全保障月刊(農林水産省)

- ・インドネシアの食事情①: 食文化(インドネシア料理)(第45号・2025年3月版P24～P25)
- ・インドネシアの食事情②: 日本からの農林水産物・食品輸出(第46号・2025年4月版P26～P30)
- ・インドネシアの食事情③: インドネシアにおける食料安全保障政策(第47号・2025年5月版P26～P30)

# 3. インドネシア人材の魅力①

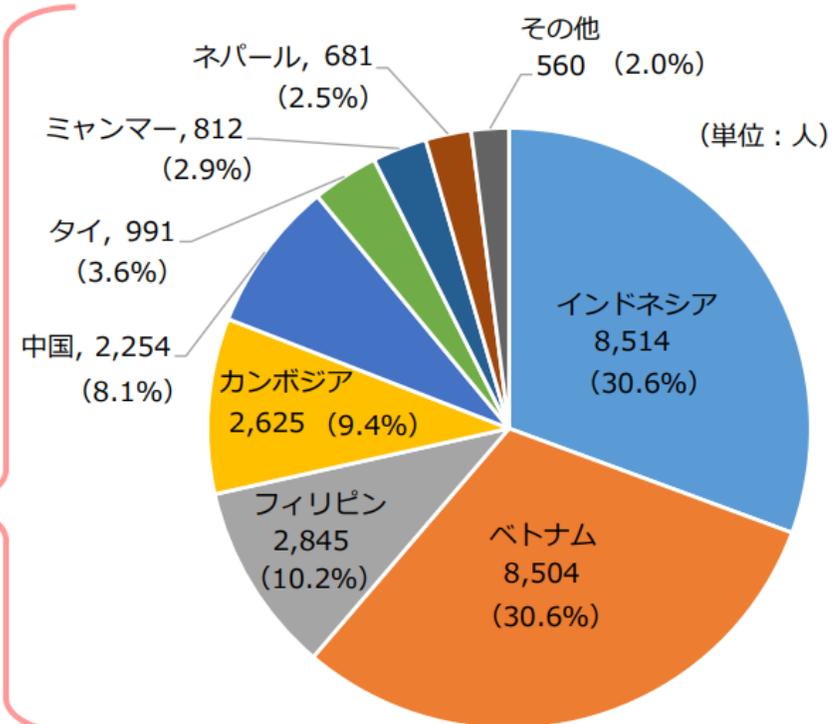
- 農業分野で働く技能実習生と特定技能外国人の総数は令和5年12月末時点で約5万4千人。
- 特定技能外国人数は令和6年6月末時点で約2万8千人となり、割合も年々増加。
- 国籍別ではインドネシア、ベトナム、フィリピン、カンボジアの順で多くなっている。

農業分野の技能実習生数及び特定技能外国人数の推移



資料：出入国在留管理庁「職種・作業別 在留資格「技能実習」に係る在留者数」  
 (令和5年12月末現在) 及び  
 出入国在留管理庁「特定技能在留外国人数」(令和6年6月末現在)  
 を基に農林水産省で作成

特定技能外国人の国籍別内訳



資料：出入国在留管理庁「特定技能在留外国人数」  
 (令和6年6月末現在) を基に農林水産省で作成

## 3. インドネシア人材の魅力②

(一般的に言われていること)

- 明るい
- 温厚でおだやかな性格
- プライドが高い
- 親日国
- 信仰心が強い
- 時間にルーズ

御清聴ありがとうございました！